

教育相談記録票(教師用) 記入例

相談日	令和 7 年 8 月 30 日			記入者名	海道 次郎		
ふりがな	ふゆやま ゆき		性別	女	ふりがな	かいどう じろう	
生徒番号	14		担任氏名	海道 次郎			
学級	普通学級			その他()			
住所	〒△△市△△町△△-△△			電話	〇〇〇	〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	住所	△△市△△町△△-△△			FAX	なし	
手帳の取得状況	療育手帳の有無		有 A				
	身体障害者手帳等の有無		無				
障がい状況	障がい名		知的障がい、自閉症の診断を受けている。				
健康等の状況	現在までの主な病気等						
	内臓疾患	なし	・小学校第4学年までは喘息の発作を起こすことがあった。ない。				
	てんかん	なし	・中学校では、水泳などの学習の際に教師がそばにいる。家庭では、年に1回程度発作がある。していた。				
	アレルギー	あり	・リンゴや桃、キウイを食べると、唇が腫れたり、呼吸が。食べさせない。必要である。				
	その他	特になし					
出欠の状況	出席すべき日数				早退		
	第1学年	201 日			5 日		
	第2学年	203 日			4 日		
	第3学年	30 日	1 日	病休(体調不良)	1 日	1 日	
生徒の様子	興味・関心	・人と関わることが好きで、自分からいろいろな人に話しかける。 ・手伝いや人の役に立つことが好きで、友人が多い。 ・歌とダンスが好きで、文化祭ではダンスを発表した。					
	高等部で学びたいこと	・家庭生活に必要な基本的な知識や技術(簡単な調理や身の回りのこと) ・時計や金銭など、社会生活に必要な基礎的な知識					
通学手段の希望	送迎		入舎の希望		希望する		
進路の希望	志望校	第1	△△養護学校	第2	□□支援学校	第3	〇〇支援学校
	志望の理由	・卒業後の自立した生活に向けて、基本的な知識や技術を身に付けるための指導を丁寧に行っているため		・生徒が興味をもっている作業学習を行っているため		・コース制に分かれており、生徒の適性に合わせた学習内容を選択できるため	
	相談の状況	相談済		相談済		今後相談の予定	
	相談の時期	7月5日		8月30日		調整中	
	志望学級	第1	普通学級	第1	普通学級	第1	普通学級
高等部卒業後の進路希望等について	・当該生徒は、販売やカフェ店員など人と関わる仕事か、介護など人の役に立てる仕事を希望している。						

黄色で塗りつぶしたセルはドロップダウンリストから選択してください。
記入漏れを防ぐため入力すると色が消えるよう

水色で塗りつぶしたセルには直接入力してください。
記入漏れを防ぐため入力すると色が消えるように設定しています。

		内容	生徒の状態	特記事項	
		集団活動	集団活動に受身的であるが参加できる。	一番前に立つことにこだわりがあるため、場所の指定に配慮が必要である。	
		対人面	友達と適切な関わりができる。	積極的に人に関わることはできるが、敬語など、相手に合わせた言葉遣いに課題がある。	
		コミュニケーション	時々、一方的な語りが見られる。	場の雰囲気に合わせて相づちを打つが、話の内容が理解できていないことがあるため、イラスト等を使った補足説明が必要。	
<p>学習の状況や生活習慣については、生徒ができていること、支援があればできることなどについて、具体を記入してください。</p>			必要なものもあるが、お一人である。	食事は一人で食べることができる。排せつ後の始末など、一部支援が必要である。	
			あれば利用できる。	時刻表や路線図等の理解が不十分のため、支援が必要である。	
			と注意散漫になり、捻挫や打撲など思わぬけがをすることがあるため注意が必要である。		
事項					
学習の状況		国語	見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考える。		
			経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりする。		
			登場人物になったつもりで、音読したり演じたりする。		
			自分の考えや言葉で表現することができるが、書いて表現することに課題があるため、伝えたいことをまとめる際に教師の支援が必要である。		
		数学	数と計算	20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大きさを比べたりする。	
			図形	大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりする。	
			測定	長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かる。	
			1位数の足し算や引き算の計算ができるが、概念の理解まで至っていないため、日常生活の中で具体物を活用して加法、減法の理解が深まるよう指導を行っている。		
		基本的 生活習	食事	一人で食事することとともに、準備や片付けなど、一連の活動を友達と協力して行う。 ・周囲を見たり、会話に夢中になったりし、手が止まっていることがある。 ・準備、片付けを含めて時間内(45分)に半量を食べる。	
			排せつ	援助がなくても自分で用を足すことができる。 ・排尿の寸前にトイレに行くことが多いため、言葉掛けが必要な事もある。	
清潔	簡単な洗濯をする、入浴時に身体各部の洗い方やふき方が分かる。 ・一人で頭や体を洗うことができるようになってきたが、洗い残しがあるため、確認することが必要である。				
身なり	そで口や襟もと、すそを整えるなどの身だしなみを整える。 ・心身の状態により、着替えに取り掛かるまでに時間を要する時があるが、おおむね自分で取り組むことができる。				
			安全な遊び方や遊具・器具の使い方が分かる。 ・教師の指示を聞いて行動することができる。		
			一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校行事や家庭の予定などに従って行動する。 ・見通しのもてる活動には集中して取り組むことができる。		
		人 わり	自分自身や家族について、仕事や兄弟姉妹関係などにも触れて簡単に話したり、紹介したりする。 ・相手に意思を伝えようとするが、十分に伝わらず情緒が不安定になることがある。		
中学校で行っている合理的配慮		学習面 生活面 (個別の教育支援計画 への記載内容 等)	・活動に時間がかかるため、活動量や時間を本人に合わせて設定している。 ・教師からの説明は短く、絵やイラストと合わせて提示している。 ・腕時計とカードを使って、次の活動が始まる時間を意識できるようにしている。		
その他 特記事項		・自分の気持ちが相手にうまく伝わらず、感情が高ぶり乱暴な言葉を使ってしまうことがあるため、その際には別室に移動し、気持ちを落ち着かせる時間を確保している。			